

七度ヲ超エタリ。年雨量ハ二、〇〇〇耗餘降雨日數一四〇日許ナリ

主ナルモノヲ擧クレハ次ノ如シ

二、河川ノ狀況 廣瀬川ハ國見山脈ニ源ヲ發シ數多ノ支流ヲ併セ米ノ津ニ於テ八代灣ニ注ク上流大川内村射場元ニ至ル迄ハ川ハ急峻ナル山岳ノ間ヲ流下シ河幅二間乃至五間ニシテ河床ニハ玉石轉石多シソレヨリ片町ニ至ル間右岸ニ掌大ノ耕地開ケテ水田トナル片町ノ下流ニテ宇津良ノ支流ヲ容レテ河況一變シ紺碧ノ淵ハ忽チ一段流トナリテ落下ス。河床ニハ岩盤露出シ轉石散在シテ勾配稍急ナレトモ間モナク玉石礫トナリ淵ト瀬ト交互ニ來リ勾配一〇〇分ノ一ニ近シ。田原ヨリ鍋野ニ至ル間ハ丘阜近ク河岸ニ迫リテ時ニ斷崖ヲナセル所アリ河床ハ集塊岩ノ露出スル所アレトモ多クハ砂礫泥砂ニシテ流勢穩カナリ。

鍋野川ヲ併セテ河ハ急ニ増大シ河幅二〇間乃至四〇間トナリ流量亦増加ス之ヨリ下流ハ兩岸急ニ開ケテ平瀬ナル沃野トナリ

三、治水及水利 本水系ニ於テハ治水及水利事業トシテ著シキモノナシ最重要ナルハ用水ナリ。流域内ニハ凡ソ一八七〇町歩ノ水田アリ大部分ハ下流ノ出水平野ニ屬ス

是等ヲ灌漑スル用水取入口ハ全流ヲ通シ各所ニアレトモ

漁業ハ本支流共相當行ハレ鮎ヲ最トシ鰯、鰐等之ニ次キ年產額凡ソ五、〇〇〇圓許ナリ

四、水力地點 本水系ニハ中流部ニ稍急ナル勾配アレト單ニ一小部分ニスキス流量概シテ少ク且夏季灌漑用水トシテ取入レラルモノ相當アレハ水力トシテ有利ニ利用シ得ヘカラス許可並選定地點ナシ

第二十五章 水俣川水系

(一) 地形 水俣川水系ノ流域ハ熊本縣ノ西南隅ヲ占メ葦

北郡ニ在リ形狀三角形ニ近ク東西五里南北三里ニ亘リ面積九方里アリ

本流域ハ國見山脈ノ連亘スル處ニ當レリ。即チ流域ノ東ニ鑿ユル國見岳ハ其ノ主峰ニシテ主脈ハ之ヨリ熊本、鹿兒島兩縣界ニ沿ヒ西南ニ走リ矢筈嶽等高サ二、〇〇〇尺内外ノ山岳相並ヒ南方廣瀬川トノ流域ヲ分チ一支部ハ國見

岳ヨリ西ニ走リ高サ三、〇〇〇尺内外ノ國見山、大關山ヲ起シ以西ハ高サ一、〇〇〇尺内外ノ丘陵トナリ西ニ延ヒ流域ノ北部ヲ限レリ

是等ノ山勢延ヒテ河川兩岸ニ及ヘリ而シテ南部ニ於テ矢筈嶽ノ東部ニハ鬼嶽ヲ初メトシ急峻ナレト之ヨリ東部ハ山頂勾配緩ニ中腹急ニシテ稍高臺性ヲ帶フ其ノ一脈ハ北西ニ延ヒテ水俣川ト湯出川トヲ分テリ河ノ北部ニ於テハ起伏稍錯雜スレト地勢概シテ緩ナリ

流域内ニハ河口附近少許ノ外平地ト稱スヘキモノナシ

(二) 地質 本流域ノ四周ヲ圍メル國見山脈及其ノ支脈ハ輝石安山岩等ヨリ成レリ而シテ河川ノ沿岸ハ帶ノ如ク基盤タル古生層ヨリ成レリ該層ハ九州山系ヲ構成スルモノ同系ニ屬シ主トシテ砂岩、粘板岩ヨリ成リ上流石坂川及下流水保附近ニ於テハ掩フ所稍大ナリ河口附近掌大ノ平

河川	取入口位置	取入水量	灌漑反別
廣瀬川	出水町大同	五五	二二三
平良川	同渡瀬口	一九〇	一一九
同	耳ノ平	五〇	五〇
同	八田川原	一〇	一〇
同	中出水村六月田	三	三
同	大川内村御領	一五	一五〇
同		五	五〇

地ハ沖積層ヨリ成レリ

(三) 林野狀態 本水系ノ水源地ハ殆ト國有林ニシテ櫻、椎、櫟等ノ闊葉樹林多ク近時松、杉、檜等ノ植林盛ニ行ハレ在來ノ原野ハ化シテ是等ノ美林トナリツツアリ。河川ノ沿岸ニ近キ部分ハ主トシテ民有ニ屬シ闊葉樹針葉樹ノ混生林アレトモ狀況良好ナラス耕地ハ河畔ノ丘陵並下流部ノ平地ニ多クシテ水田トナレトモ大部分ハ畠地ニシテ切替畑燒畑、熟畑ニ區別サル

(四) 氣象 年平均氣溫一六度許年雨量二、〇〇〇耗降雨日數一二〇日許ナリ

二、河川ノ狀況 本流久木野川ハ國見山ニ源ヲ發シ西流ス上流大川ヨリ久木野ニ至ル間ハ河床河岸共ニ砂礫ヨリ成リ河畔ニハ掌大ノ耕地開ケテ水田トナレリ間モナク兩岸相迫リテ時ニ断崖ヲナセトモ兩岸ノ丘阜ハ緩ク河身ニ逼リテ耕地ヲ存セリ市渡瀬、深渡瀬附近ニハ河ニ玉石多キ處ト岩盤露出セル所ト交互ニ來リ瀬ト淵ト相半ス市渡瀬ニテ一支流ヲ併セ間モナク石坂川ヲ合スルニ及ヒ流量倍加シ河幅大トナレトモ河床河岸共ニ砂礫ヨリナリ流レハ次第ニ緩トナル

汎濫ナク下流部ニ制水護岸等施セル所アレトモ特ニ見ル

ヘキモノナシ。最重要ナルハ用水ナリ流域内凡ソ七三〇

町歩ノ水田アリ是等ヲ潤ス用水取入口ハ全流ヲ通シ各所

ニ設ケラル。漁業ハ夏期ニ行ハルレトモ單ニ里人ノ遊漁

ニ過キスシテ鮎、鯉等ノ漁獲アリ產額多カラス

四、水力地點　流量少ク勾配亦概シテ緩ナレハ水力トシ

テ有利ニ利用シ得ヘキ地點ナシ

第二十六章 佐敷川水系

一、流域

(一) 地形　佐敷川水系ノ流域ハ熊本縣ノ西南隅葦北郡ノ

中央部ニ在リ形狀ハ細長ク長方形ニ近ク東西一里南北凡
ソ五里面積五方里アリ

本流域ハ國見山脈ノ連亘スル所ニシテ其ノ南隅ニ國見
山大關山聳立ス高距何レモ三、〇〇〇尺内外ニシテ其ノ餘
勢ハニ派ニ別レテ北西ス一ハ流域ノ東及北東ヲ限ルモノ
ニシテ二、四〇〇尺ノ鏡山ヲ最トシ球磨川水系ノ流域ト堺
シ一ハ流域ノ西湯浦川水系トノ分水嶺ヲナスモノニシテ
概シテ低山性ノ丘阜ニシテ緩ク流域内ニ傾斜セリ

(二) 地質　本流域ノ四周ヲ回レル國見山脈及其ノ支脈ハ

何レモ輝石安山岩等ヨリ成レリ。而シテ河川沿岸ノ基盤

ハ古生層ニシテ主トシテ砂岩及粘板岩ヨリ成リ河口附近

ノ平地ハ沖積層ヨリ成レリ

(三) 林野狀態　本流ノ水源地ハ大部分國有林ニシテ櫟、椎、

櫟、イチ等ノ闊葉自然林多ク針葉樹、闊葉樹ノ混生林亦少カラス無立木地及原野ニハ次第ニ松、杉、扁柏等ノ植林行ハレ

林況概シテ良好ナリ。河川ノ沿岸ニ近キ部分及流域ノ北

境ハ全部民有ニ屬シ疎鬆ナル混淆林アルニ過キス。農耕

地ハ中部及下流部ニ多ク水田畑地トナレリ

(四) 氣象　年平均氣溫一五度乃至一六度年雨量一、八〇〇
耗許降雨日數一一〇日許ナリ

二、河川ノ狀況　國見山ノ北麓ニ源ヲ發スル本流ハ大野
村杉園泥沼ニ於テ河幅二、三間トナリ稍河川ノ狀況ヲ呈ス

河床ニハ岩盤露出シ轉石多クシテ瀬トナリ段流トナル勾
配概シテ急ナリ泥沼以下ハ右岸急ニ開ケテ段狀ノ耕地連
ル河床河岸共ニ礫石ヨリ成リ勾配緩ナレトモ祝坂ニテ左
折スルニ及ヒ河況一變ス兩岸ノ山岳ハ急ニ迫リテ崎チ古
生層ノ岩盤ハ河床ニ露ハレテ岩塊トナリ轉石トナリ段流
相次キ勾配急ニシテ約四〇分ノ一ナリ。鹽浸ヨリ下流ハ